

No.15 単元計画・学習指導案例（6）（福山市立新市中央中学校）

情報収集・探索能力を育むことを目指した教科学習の系統性

社会科公民的分野 単元「消費生活と経済のしくみ」

【福山市立新市中央中学校3学年】

時期	道徳	教科等	総合的な学習の時間	特別活動
9月				学級活動「進路を考える」 ※ねらい：進路の参考資料や作成した壁新聞などをもとにグループで話し合い、自分の進路をどのように選択していくのかを考え、進路計画を立てる。
10月		教科「社会科」 単元「消費生活と経済のしくみ」 ※ねらい：身近な経済活動について関心をもち、消費者、生産者など様々な立場にたって考察する。経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解する。 【イ】：将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。	単元「高校体験」 ※ねらい：高校の体験入学を基に自分の進路を見つめ直させるとともに、進路を切り開く意欲を高める。 【ア、イ】：体験した内容や資料を整理し、上級学校の種類や特徴及び職業に求められる資格などが分かる。	【ア、イ】：体験した内容や資料を整理し、上級学校の種類や特徴及び職業に求められる資格などが分かる。
11月	主題名「自分で決めたこと」1-(3)教材名「私も高校生」 ※ねらい：自主的に自分の生き方を考え、やろうと決めたことは誠実に実行することに生き甲斐や喜びを見いだそうとする態度を養う。 【ア、イ】：将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。			
12月		教科「英語」 単元「Skit Time」 ※ねらい：バス停における道案内の場面を想定した英語による会話文を作って演じる。 【イ】：将来の職業生活との関連の中で、今の学習の必要性や大切さを理解する。	単元「高校体験発表会」 ※ねらい：各グループの発表をもとに、各高等学校の特徴を理解する。【イ、ウ】：発表会に向けて、相手に分かりやすく伝えることができるように、収集した情報に創意工夫を加え、提示、発表、発信する。	

図中の単元をつなぐ太い直線は、本単元で身に付けさせたい情報収集・探索能力の系統性を示しています。

※図中の【ア、イ、ウ、エ】はそれぞれ【ア】人間関係形成能力、【イ】情報活用能力、【ウ】将来設計能力、【エ】意思決定能力を示しています。

事前・事後の指導における系統性をもった教科学習の授業実践例(中学校)

情報収集・探索能力の育成の視点を取り入れた授業

教科 社会(公民的分野)

【福山市立新市中央中学校第3学年】

キャリア教育の視点に立った指導の工夫

- この授業では、情報活用能力(情報収集・探索能力、職業理解能力)の育成を目指している。
- 地理的分野・歴史的分野の学習、他教科の学習で身に付けた情報収集、分析、活用等の力を活用し、高めるとともに、学習した内容に基づき、現実の社会の経済活動について考えることを目標にしている。

1 学年 第3学年

2 科目名・単元名 社会 「消費生活と経済のしくみ」

3 単元(題材)の目標

- 身近な経済活動について関心をもち、消費者、生産者など様々な立場に立って考察する。

【職業理解能力】

- 経済活動の意義や市場経済の基本的な考え方について理解する。

- 需要、供給、市場価格の関係を資料から読み取り、分かりやすく説明する。

【情報収集・探索能力】

4 指導と評価の計画(全5時間)

次	学習内容 (時数)	評 価				【キャリア教育との関連】	評価方法
		関	考	表	知		
1	わたしたちの消費生活(1)	○				・ 発問に答えるなかで、経済に関心を持ち、積極的な学習意欲・態度で取り組むことができる。	観察法(発言)
	家計の収入と支出(1)			○		・ グラフなどから、家計の収入と支出の関係を読み取り、家計のゆとりについて説明できる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)
2	ものの流れとお金の流れ(1)				○	・ 生産者から消費者までの商品の流通のしくみとお金の流れについて理解することができる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)
	市場のしくみと価格の決め方(1)(本時)		○	○		・ 需要、供給、市場価格の関係を資料から適切に読み取り、現実の経済活動において必要なものであることを理解することができる。 【情報収集・探索能力】【職業理解能力】	作品法(ワークシート) 観察法(発言)
	独占価格と公共料金(1)		○			・ 独占価格や公共料金について、国民生活を守るために国や地方公共団体が果たしている役割を考えることができる。	作品法(ワークシート) 観察法(発言)

5 本時の目標

- 需要，供給，市場価格の関係を資料から適切に読み取る。【情報収集・探索能力】
- 市場経済のしくみや役割について，多面的・多角的に考察し，分かりやすく説明する。
- 学習した内容に基づき，現実の社会の経済活動について考えることができる。

【職業理解能力】

6 本時の指導過程

過程	学習活動	指導上の留意点	評価規準（評価方法） 【キャリア教育の視点】
導入	<ul style="list-style-type: none"> ○ いちご(とちおとめ)の月別の取扱量と平均価格のグラフをみる。 ○ 本時の課題を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱量と平均価格がそれぞれ変化していることに気付かせる。 	
	<p>ものの値段（価格）は，どのようにして決まっていくのだろうか。</p>		
展開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 取扱量と平均価格の2つのグラフを比較し，関係を読み取る。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 取扱量が増える4月から価格が下がる。 ・ 取扱量が極端に少ない9月に価格が高騰する。 ○ 取扱量の比較的多い12月～3月の価格が4月～7月までの価格より高いのはなぜか考え，グループで出し合う。 ○ 供給量，需要量，価格の関係について，供給曲線と需要曲線を使って整理する。 ○ 自分が生産者や小売業者だったら，どのような生産や販売の計画を立てればよいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 読取りが難しい生徒には，特徴的な月を示し，考えるよう指示する。 ・ 早く読取りができた生徒には，気付きを数多くあげさせる。 ・ 生産者の立場，消費者の立場から考えさせる。 ・ 地理的分野での促成栽培等の多様な生産方法を想起させる。 ・ 協議が進んでいないグループに対しては，具体的にいちごやその加工品を購入する場面を想起させる。 ・ 生徒に身近な具体例を挙げて説明する。 ・ 生産者・小売業者それぞれの立場で，これまでの学習内容に基づき考えさせる。 ・ 計画を立てることが難しい生徒に対しては，どちらか一方の立場に立って考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 需要，供給，市場価格の関係を資料から適切に読み取ることができる。【情報収集・探索能力】（作品法，観察法） <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>生活経験や既習の学習内容と関連付けている。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ 価格の決まり方を生産者，消費者の両方の立場から考え，分かりやすく説明することができる。（観察法，作品法） ○ 学習した内容に基づき，現実の社会の経済活動について考えることができる。【職業理解能力】（作品法，観察法）
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ○ 供給量，需要量，価格の関係についてまとめる。 ○ 次時の学習を確認する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 根拠（資料）を明確にし，考察した内容を分かりやすく書かせる。 	